

歴史ある首里高校へご入学おめでとう

震天動地

「震天動地」は、1918年当時の山口沢之助校長の揮毫により、誕生した応援団旗の言葉で、「海邦養秀」と共に先輩から後輩に受け継がれている首里高校の精神文化の一つです。
(一社)養秀同窓会・沖縄県立一中・首里高等学校

No.22
2022.4.7

SHINTENDOUCHI

★入学生号

未来を担う君たちへ
海邦養秀の精神を繋ぐ!

先 輩 から 後 輩 へ

いらは けんや
伊良波 賢弥
(首里高70期)

那覇市文化財課

写真：養秀同窓会館



卒業式を迎えた春の
かけがえのない思い出。

勤務先 那覇市文化財課 **伊良波 賢弥** 首里高 70 期卒

先輩から後輩へ

出会いを通して充実した高校生活を

新入生の皆さま、首里高校へのご入学、おめでとうございます。二年間のパンデミックで社会全体が不安に包まれる中、受験の試練を乗り越え、晴れて首里高校へ進まれますこと、本当に敬服します。
これからの高校生活が、様々な人との出会いを通して充実した日々になりますことを心より願っています。

首里高校のすてきな先生方や先輩方、友人たちの知恵や力を合わせることで、可能性は無限に広がっていくことと思います。悩んだ時や困った時は、一人で抱え込まず、身近な人に相談してみると道が開けるかもしれません。ぜひ自分から声をかけてみてください。



ここで私の高校時分の思い出をふり返ると、入学当初の私の心情は、同じ中学出身の同級生が五人しかいなかったもので、とても心細かったことを覚えていています。聞き慣れないウチナーグチに接した時には、場違いな所に来てしまったと思ったものでした。そんな中でも、お昼休みに勇気を出してクラスメイトと一緒に弁当を食べたりするうちに、次第に打ち解けていきました。

十一月の文化の日が近づくと、音楽室からビートルズというチャルメラの音が響き渡り、心が洗われるような気持ちになったこと。図書館の窓辺から、中城御殿跡の発掘調査の様子をながめながら勉強に勤しんだこと。昼休みにカレーを食べに行ったら、香りの染み付いた制服で全体集会に参加し、周囲の冷たい視線を感じて逃げ出したくなったこと。どれも何にも代えがたい思い出です。

同級生みんな「受験」という同じ目標に向かって取り組めたからでしょう。高校三年生の思い出が、最も鮮やかに記憶されています。大学進学に向かう人が多い中、すぐにでも就きたい職業があるため、就職活動に励む人



(一社)養秀同窓会
会長 田場 稔
(首里高 16 期)

科学における 創造性を養うには

私は創造性を養うにはどうあるべきかを考え、常日頃から種々の本を読んだり、著名な人の話を聞いたりしているが、今を去る19年前(平成15年)一月十一日、夜11時「NHKスペシャル トーク」を視聴し、非常に参考になったので、当時記録した「視聴ノート」に従って紹介したい。(司会は武内陶子NHKアナウンサー)

この番組には、小柴昌俊(物理)、江崎玲於奈(物理)、野依良治(化学)の三人のノーベル賞受賞者の先生方が出演し、様々な視点と角度から持論を述べられた。その中に共通していたのは次の二点である。

(一)意欲と好奇心を持って一つのことを追求せよ。

実験中手順や薬品を間違えて、思わぬデータや観察が得られる場合があるが、その時も日頃の観察力が役立つのである。ゲーテの「発見には幸運が、発明には知性が不可欠である。」の言葉の紹介があった。

(二)感性を磨きなさい。

科学の楽しみは精神の高揚であり、これは芸術と同じである。絵画、音楽、書などを鑑賞したり、創作したりする芸術の楽しみと同じだ。美しいものに感動するしなやかな心が創造へと駆り立てるのである。

番組の最後に先生方が述べられた若い人へのメッセージを次に記す。

小柴昌俊

「自分の夢を見つけて、それを大切に育てよう。」

野依良治

「憧れと感動、そして志」

江崎玲於奈

「いつもの道を離れ、未踏の森に飛び込み、新しいものを探れ。」

新入生諸君が、首里高校において、一生の友となる良き友人に出会い、又、良き師に巡り合って、一生追い求める夢を見つけることを願っています。

【略歴】首里高校16期卒 首里高校教諭の時、同窓会係として創立百周年事業に関わる。平成11年第21代首里校長として母校に戻る。養秀同窓会副会長として百三十周年事業に関わり、平成30年 養秀同窓会第9代会長に就任。平成31年 百四十周年記念事業実行委員会会長を務める。

もいました。社会に出る準備をしている同級生の姿が、一回りも二回りも大きく見えました。

さて、昨年私は大学院の修士課程を終え、今は那覇市文化財課に勤めています。とはいえ、会計年度任用職員という肩書きですので、早く地に足のついた職に就かなければと焦っています。高校入学時からキャリアデザインを意識しておくのもいいでしょう。

ちなみに、現在の職場では、文化財の保存や周知活動に携わっています。御嶽や井泉、陵墓など先達の財産を、大切に守り伝えることができたと思っています。首里高校の周りには、世界に類を見ない宮廷や都市に関する史跡、凄惨な地上戦を伝える戦跡など数多くの文化財があります。その他にも、養秀同窓会館をはじめ、自治会の倶楽部や公園、地域に根ざした商店、古い劇場(首里劇場)など文化に触れられる様々な場所があります。時間のある際に訪ねてみるのもいいかもしれません。

最後になりますが、私の高校生活はとにかく眠かったと覚えています。どうやら十代後半は、いくら寝ても寝足りないようです(個人差があります)。睡眠欲ともうまく付き合いなから実りある高校生活を送ってください。



PROFILE

- 1996年生。那覇市出身。
- 2015年3月 首里高校卒業
- 2019年3月 琉球大学法文学部卒業
- 2021年3月 神奈川大学大学院
歴史民俗資料科学研究科修了
- 2021年4月 ~現在 那覇市文化財課に勤務



伊江記念館前の集合写真(古都首里のまちづくり期成会) 養秀同窓会の先輩方と。国指定名勝・伊江御殿別邸庭園にて。



1世紀以上の時を越えて復活された2007年の綾門大綱。首里高校と玉陵の間の道で開催されました。

養秀同窓会館のご紹介 みんなで行ってみよう！



一中健児之塔前広場



篠原坂(遊歩道)

一中健児之塔

首里高校の前身である県立沖縄一中の寮跡地に、百周年記念事業で養秀会館は建てられました。そこには一中健児之塔と戦没した教職員や生徒の名前を刻んだ刻銘碑があります。その後方の山斜面には、一中鉄血勤皇隊壕跡が修復され遊歩道(篠原坂)が設置されました。毎年、6月には慰霊祭が執り行われております。



2Fホール



ミニ会議室



一中学徒隊資料展示室



2階

首里高校に入学すると授業の一環として「平和学習」があり、必ず「一中学徒資料展示室」を見学します。そこには、「鉄血勤皇隊沖縄一中隊」の資料や遺影が展示されています。その他に、「2Fホール」、「ミニ会議室」、「事務局」があり、様々な用途で活用されています。



畳間



養秀文庫



1階

1階の主な施設としては、部活の合宿でも利用されている「畳間」、沖縄学の父・伊波普猷氏や同窓会員の著書・各期アルバムなど約4,000冊を所蔵する「養秀文庫」があります。また、正面玄関から入ってすぐのロビーは憩いの場として利用されています。その他「調理室」「シャワー室」もあります。



調理室



染織デザイン科 77 期卒業制作壁画「守魂」

※表紙は壁画をアレンジしたものです。



● ホームページ <http://www.youshu.com/> ● ブログ <http://blog.youshu.com/office/>

f facebook ページ <https://www.facebook.com/shurikoh>

養秀同窓会

検索



震天動地 第22号 2022年4月7日

発行人：一般社団法人養秀同窓会

会長：田場 稔

発行責任者：広報部 会

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-7 養秀同窓会事務局
TEL&FAX: 098-885-6437
MAIL: youshu@woody.ocn.ne.jp

編集後記

高校入試という洗礼を受けて、晴れて首里高校に入学を果たされた皆さん、おめでとうございます。今日から始まる高校生活は、新たな精進の日々でもあります。その結果が確実に実を結び、3年後、記念すべき80期の卒業生として大きな足跡を残されますよう心から祈念します。 22期 中今 純